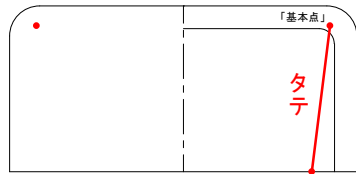
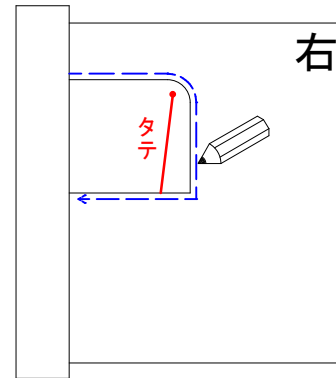


## [ がま口講座 Part1 ]

## 1、がま口元型を用意する

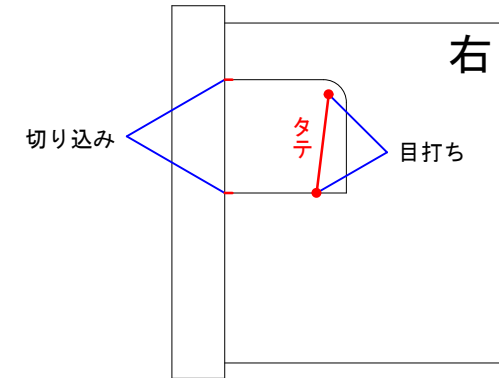


## 2、型紙に「がま口元型」を描き写す



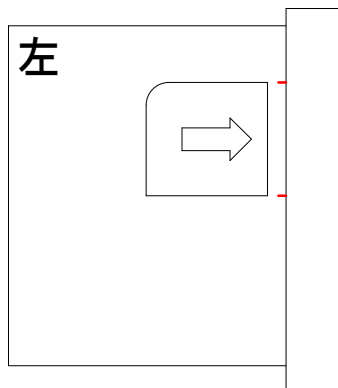
「がま口元型」と「型紙用の紙」を  
二つに折り、センターでそろえて重ね  
「がま口元型」をペンでなぞります。

## 3、目打ちと切り込みを入れる



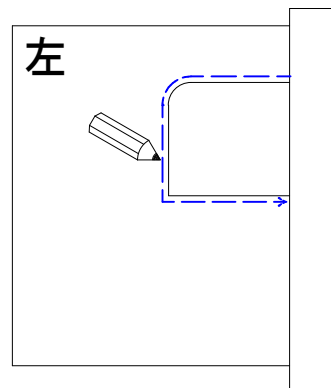
[がま口元型]のタテの線の両端に目打ちを打つ  
[がま口元型]のセンター上下に切り込みを入れる

## 4、型紙の左側に「がま口元型」を合わせる



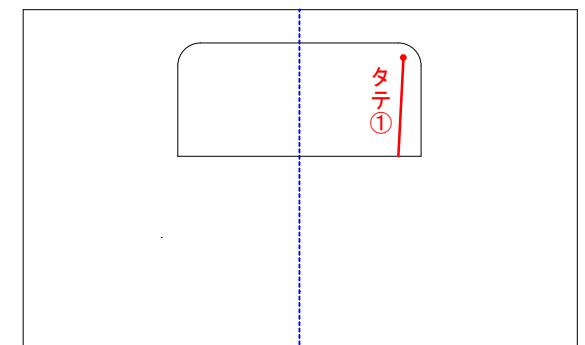
型紙の左側を上にしてセンターの切り込みを  
目印しに「がま口元型」を型紙の上に乗せて、  
しっかり切り込みに合わせて置きます。

## 5、「がま口元型」を描き写す



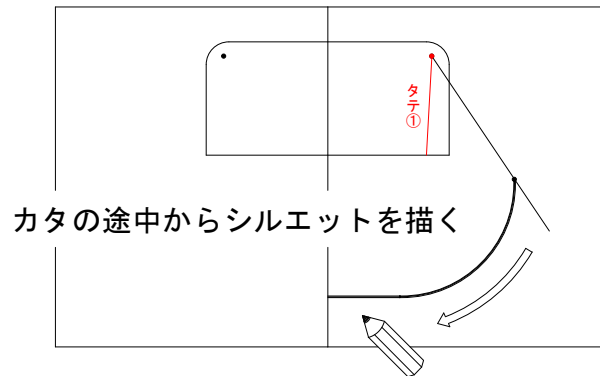
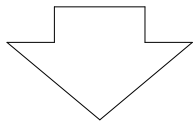
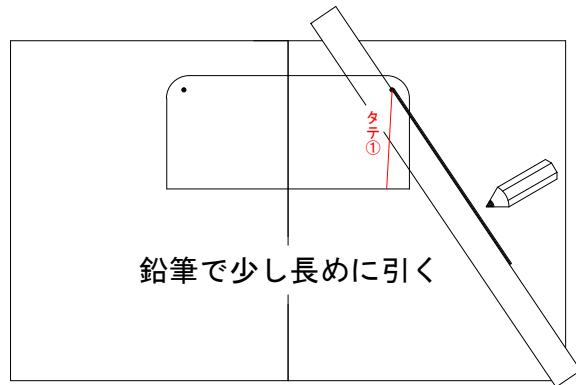
「がま口元型」のフチをペンでなぞります。

## 6、「タテ①」の線を引く



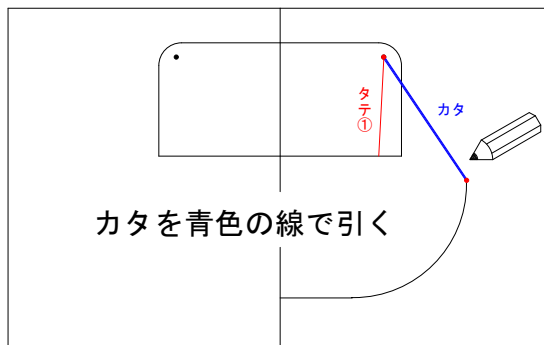
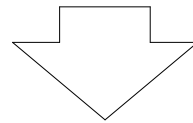
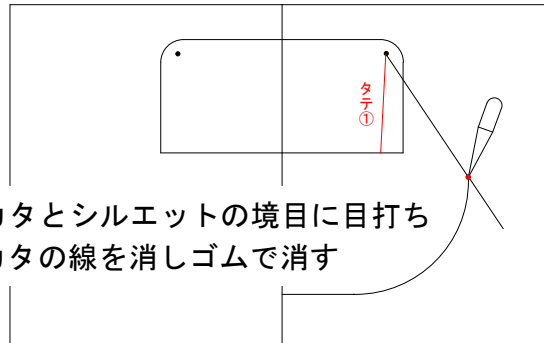
「型紙用の紙」を広げて、二つの目打ちの  
点を赤い線で結んで「タテ①」と書く

## 7、「カタ」とシルエットを描く



基本点から始まる「カタ」の線を引く  
 (鉛筆で少し長めに引いておきましょう)  
 「カタ」の途中からシルエットを描きます  
 (カタ以外のシルエットの形は自由です)

## 8、「カタ」の線を青色にする

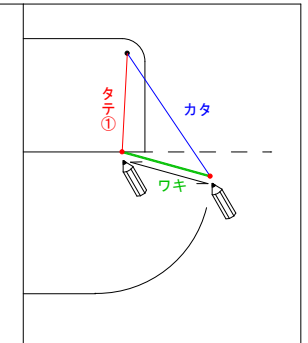


カタの線とシルエットの境目に目打ちを  
 打ち、カタの線を消しゴムで消す  
 基本点と「カタ」の下の点の間を  
 青色の線で引いて「カタ」と書く

## 9、「ワキ」の線を引く

A

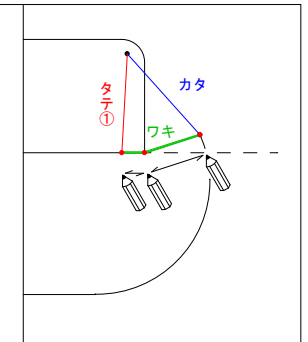
点線の下まで  
 カタを引いた場合  
 (点線の真上も[A]に含む)



「タテ①」の下の点と「カタ」の下の点を  
 緑色で結ぶ、これを「ワキ」と呼びます

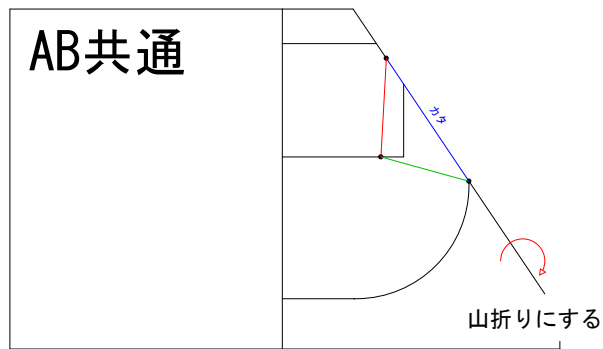
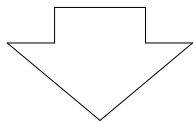
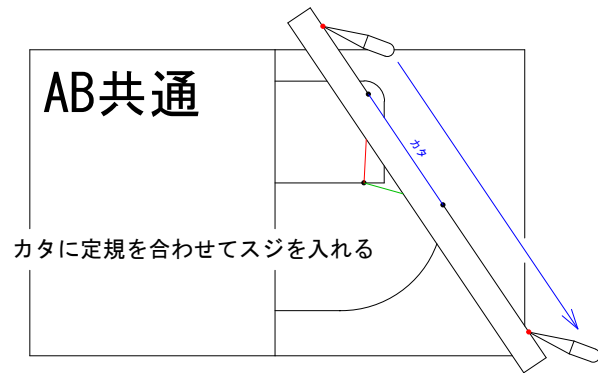
B

点線の上で  
 カタを止めた場合



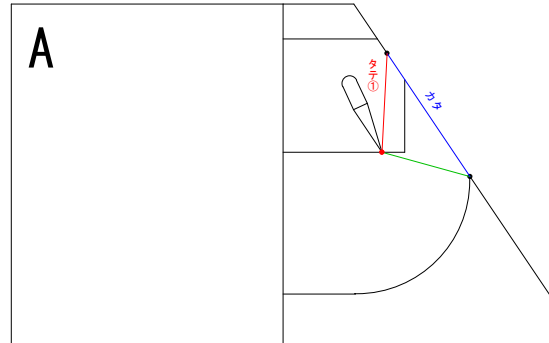
「タテ①」の下の点と「がま口元型」の  
 右下の角を緑色の線で結び、そこから  
 「カタ」の下の点を緑色で結ぶ、  
 これを「ワキ」と呼びます

10、「カタ」の線で山折りにする

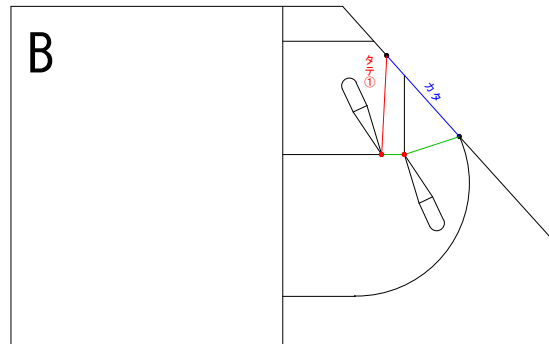


「カタ」に定規を合わせて目打ちの先でスジを入れ、山折りにする  
(スジは型紙の端から端まで入れる)

11、「タテ①」の下端に目打ち

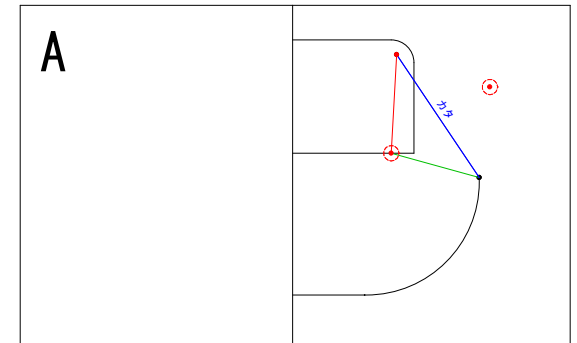


「カタ」の線で折り曲げたら、  
「タテ①」の下端に目打ちを打つ

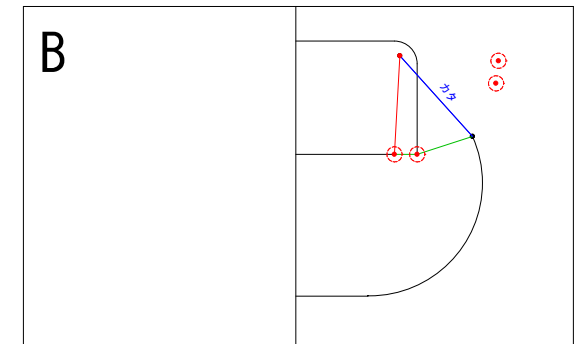


「カタ」の線で折り曲げたら、  
「タテ①」の下端と「がま口元型」の  
右下の角に目打ちを打つ

12、型紙を広げて目打ちを確認



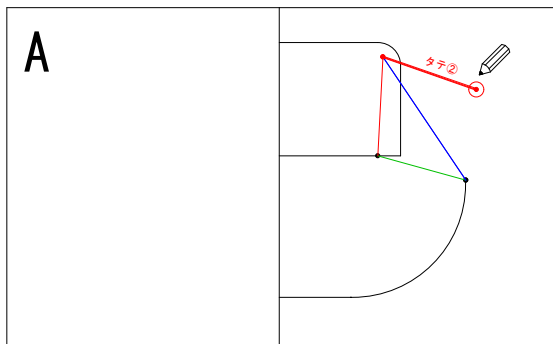
型紙を広げてカタの線を対称に  
目打ちが1つ写せているか確認する



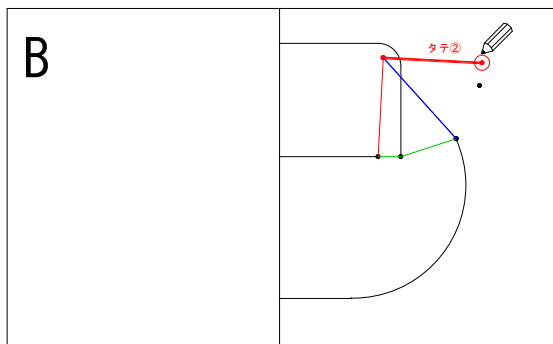
型紙を広げてカタの線を対称に  
目打ちが2つ写せているか確認する

[ がま口講座 Part1 ]

13、赤色で「タテ②」の線を引く

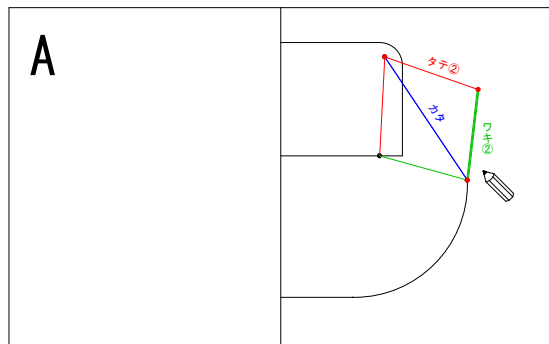


「基本点」と丸印の目打ちを赤線で結び  
「タテ②」と書く

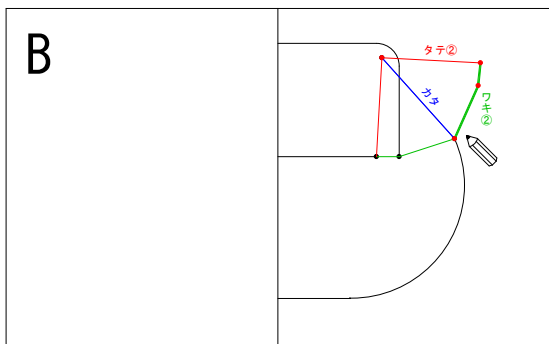


「基本点」と丸印の目打ちを赤い線で結び  
「タテ②」と書く

14、緑色で「ワキ②」の線を引く

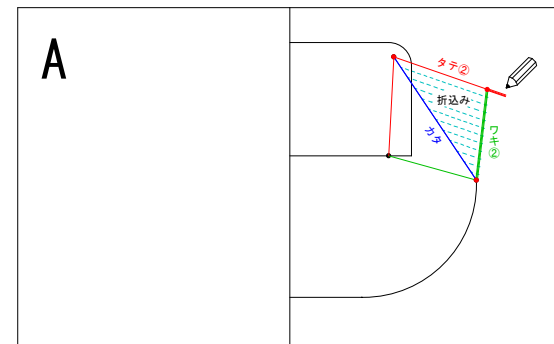


「カタ」の下の点と「タテ②」の点を  
緑の線で結び「ワキ②」と書く



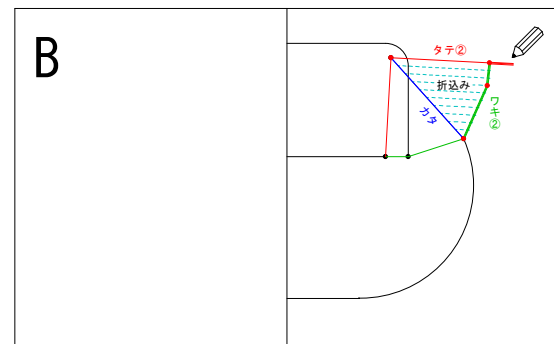
「カタ」の下の点からスタートして  
「タテ②」との間の点を通して  
「タテ②」の点まで緑の線で結び  
「ワキ②」と書く

15、「折込み」と書き  
「タテ②」の線を伸ばす



[カタ][タテ②][ワキ②]で囲まれた三角形に  
「折込み」と書く

次の作業のために「タテ②」の線を少し伸ばす

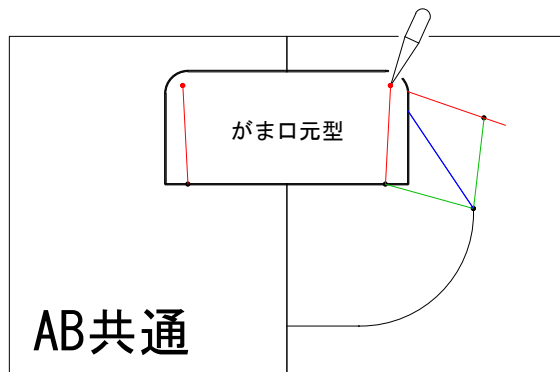


[カタ][タテ②][ワキ②]で囲まれた三角形に  
「折込み」と書く

次の作業のために「タテ②」の線を少し伸ばす

[ がま口講座 Part1 ]

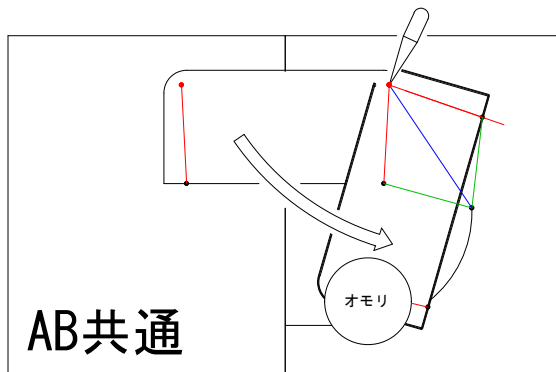
16、「がま口元型」を重ねる



AB共通

型紙に「がま口元型」を重ねて  
基本点に目打ちを刺す  
(目打ちは刺したままにする)

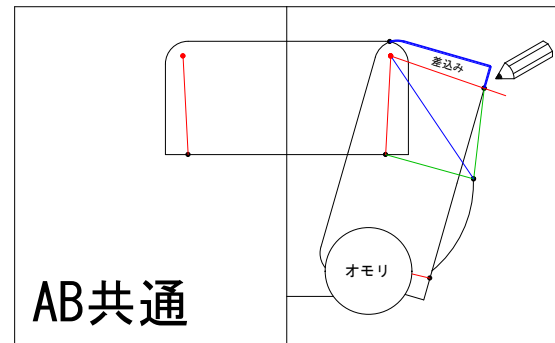
17、「がま口元型」を回転させる



AB共通

目打ちを刺したまま[がま口元型]を回転させ  
がま口元型の[タテ]と型紙の[タテ②]の線を  
そろえてオモリをのせて固定する  
(伸ばした「タテ②」の線を目印にする)

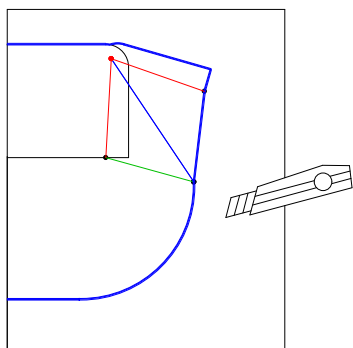
18、「差し込み」を書く



AB共通

「がま口元型」の図の青い線の部分を  
ペンでなぞり型紙に「差し込み」を書く

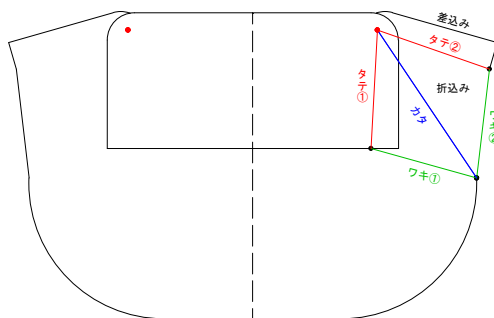
19、切り出す



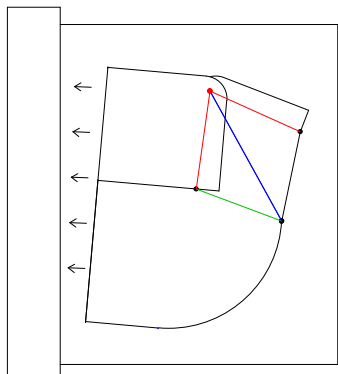
AB共通

図の青い線の部分を切り[型紙]を切り出す

20、胴元型完成

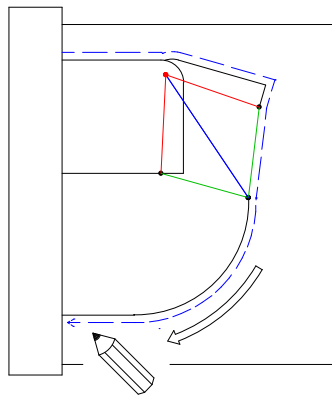


21、胴元型に縫い代をつける



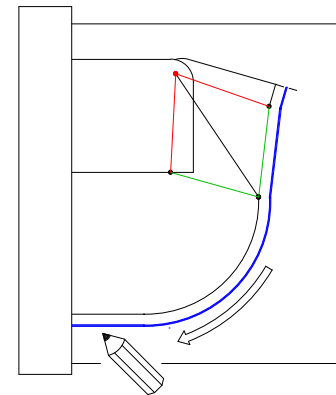
元型に縫い代を付けた[生地型]を作る為に  
「胴元型」と「生地型用の紙」を二つに折り  
センターでそろえて定規に当てる

22、胴元型をなぞる



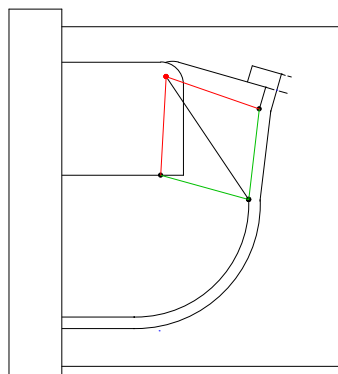
図の様に[胴元型]に沿ってペンでなぞる

23、縫い代をつける



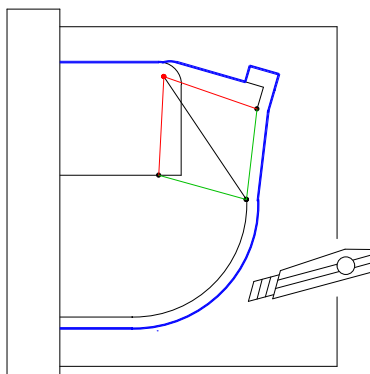
図の青い線の様に「縫い代」をつける

24、へり返し代をつける



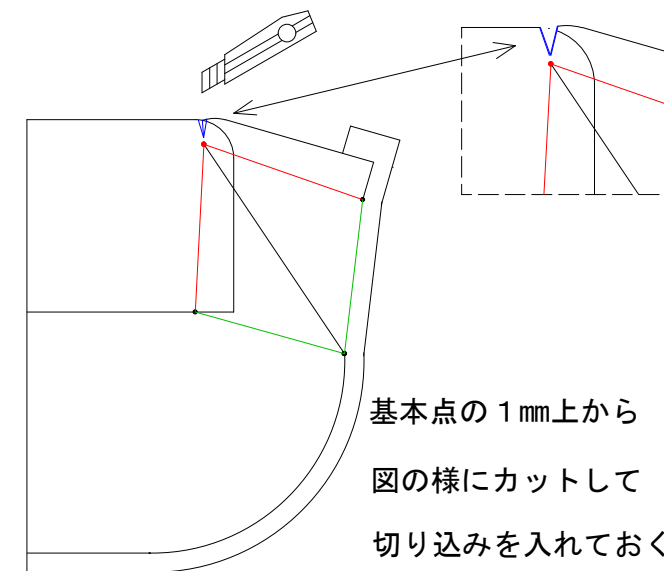
口金に適した「へり返し代」をつける

25、切り出す



図の青い線の部分を切り[生地型]を切り出す

26、V字カットで「生地型」完成



基本点の1mm上から  
図の様にカットして  
切り込みを入れておく